

令和2年度第1回新子どもかがやきプラン推進委員会の報告について

1 開催日時

令和2年8月21日（金） 紙面による意見聴取

2 概要

「アクションプラン2020」の施策及び新型コロナウイルス感染症対策について、意見を聴取した。

3 委員から出された主な意見

（1）重点施策の内容について

- 郡上特別支援学校の1校舎体制については、早期に整備を進めてほしい。
- 東濃特別支援学校の整備については、特別支援学校の児童生徒に負担のかからない整備計画を検討してほしい。
- 東濃特別支援学校及び飛騨特別支援学校についても、高等特別支援学校機能の整備も含め、作業学習の充実について検討してほしい。
- タブレット端末の活用により、バーチャルでの校外学習や訪問教育でのオンラインのスクーリング授業等を実施できるようにしてほしい。
- 医療的ケア児の校外学習は、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、十分に実施検証できなかったため、再度8校で実施できるようにしてほしい。
- 少人数コミュニケーション講座の実践を広く高等学校の教員に紹介する場を設定してほしい。
- 飛騨地域の難聴学級への支援体制の構築と合わせて、幼児教室の実施等、就学前から一貫した教育支援を行うための体制整備にも取り組む必要がある。

（2）現在課題となっていることや今後取り組むべきことについて

- 生徒の実態に即した高等学校と連携し、連携校の授業にオンラインで参加する仕組みをつくってほしい。
- 発達障がいのある児童生徒の社会自立に向けた切れ目ない支援のあり方や具体策を考えていく必要がある。

（3）新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた特別支援学校の対応について

- 様々な場面で支援をする人員の配置が必要であり、業務支援員の配置は大変ありがたい。
- 学校再開ガイドラインに＜子どもの居場所確保について＞が明記されたことは保護者に安心感を与えるのでよい。
- オンライン学習支援をより一層推進してほしい。
- スクールバスの増便については継続して維持してほしい。
- 就労支援について、労働雇用課等と連携し、特別支援学校生徒の採用が滞ることのないようにしてほしい。